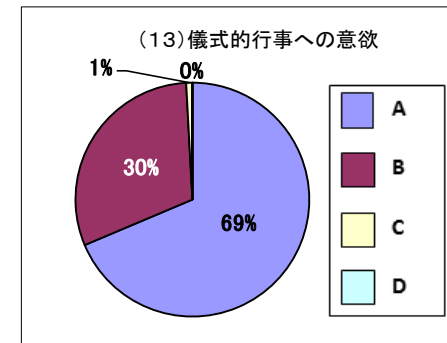
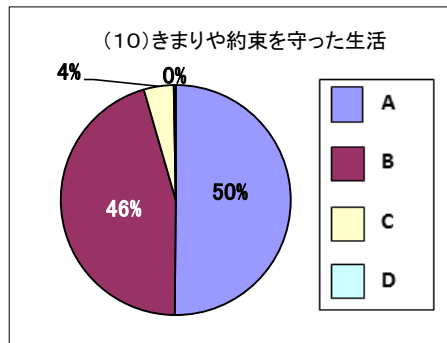


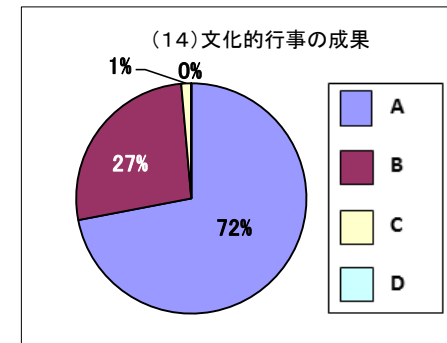
昨年と同様の評価をいただきました。オリンピック・パラリンピック教育の中で、パラリンピックの意義や価値に触れ、障がいがあるなしに関わらず、工夫さえあれば共に楽しむことができることや困難を乗り越えていくために強い心が大切であることなどを学びました。また、体力テストの結果では、3年前には投げの力に課題がありましたが、体育授業の工夫や野球選手の投げ方教室の実施を続け、改善が見られるようになりました。昨年度から、2学期に休み時間の縄跳びが定着し、今年度は担任以外にもいろいろな先生にチャレンジカードを見てもらう姿が増えました。これからも、安全に配慮しながら放課後遊びで使える道具を増やしたり、休み時間にはなるべく外に出て体を動かすように促したりしながら体力増進に努めていきます。



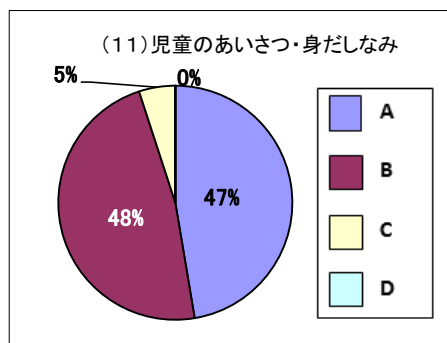
昨年同様、よい評価をいただきました。「赤坂小では、高学年がお手本となり大きな声で歌を歌ったり、返事をしたりすること」という大切な伝統が根付き、確実に中・低学年により影響を与えています。日頃の積み重ねが、行事に参加する心構えとして身に付いていることを嬉しく感じます。引き続き、入学式や卒業式など凜とした態度で参加する意味や価値を伝えていきます。また、代表委員会が中心となって行う開校記念集会では、6年生が威臨太鼓を披露し、愛校心と伝統を引き継ぐ心も育てています。ご家庭でも成長していくお子さんの姿を称賛し、大きな充実感を味わえるようにご協力いただいているお蔭かと感謝しています。



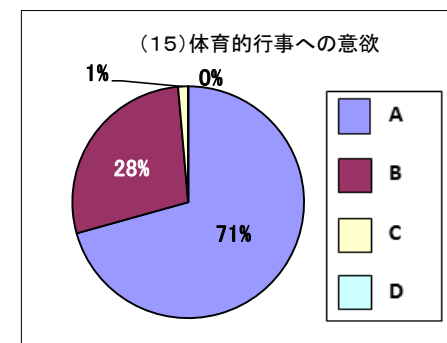
昨年度と同様の評価をいただきました。あいさつや返事などを中心に気持ちのよい学校生活が過ごせるように声掛けを続けています。また、週目標を児童の実態に合わせて提示し、クラスごとに目標達成について反省する繰り返しが、児童への意識付けになっています。週に1度は、教職員で子供たちの生活の様子を話し合う時間を設定し、全教職員で児童理解をするように心掛けています。何か改善が必要なことについては全教職員で共通理解し、全校で協力しながら対策を考えています。保・幼小中学校の連携の観点からも学校でのきまりを共通理解し、中学校に向けて、身に付けておかなければならない社会的なルールにも気付かせていけるように指導していきます。保護者会、全家庭との個人面談等でご家庭と協力し、これからも子供たちの自立のためにご協力をお願いします。



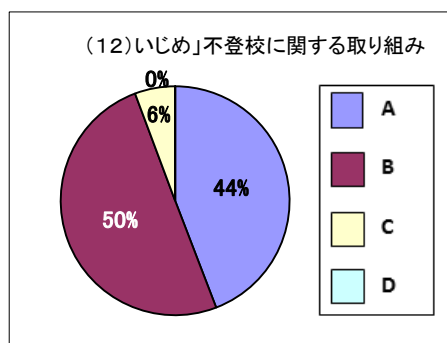
昨年同様、よい評価をいただきました。今年度は、研究発表会が秋に行われたため、音楽会と図工・家庭科作品展が3学期となり、学校関係者評価に間に合いませんでした。初めて音楽会と図工・家庭科作品展を同時開催するため、見通しを立てて準備を進めています。「赤小こどもまつり」を学校公開時に行ったことにより、多くの保護者・地域の方に子供たちの発達段階の違いを見ていただくことができました。6年生になると、教科で培った力を学級活動や行事の場で発揮できることが伝わったのではないかと考えています。学年に応じて感性を育てていく取り組みも定着してきました。今後も、子供たちの個性を発揮させ、情操教育に力を入れてまいります。



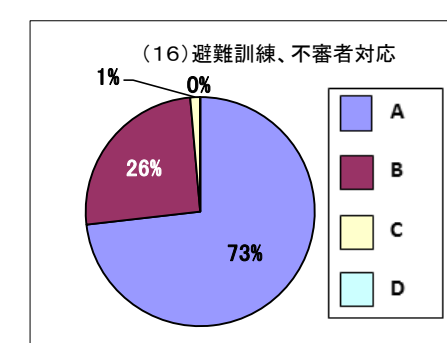
昨年度より「達成している」の割合が若干増えました。1年生もあいさつボランティアに参加する姿があり、高学年がよい手本になっているからだと感じます。今年度も、学期ごとに校長よりボランティアに参加した子供たちを表彰し、その貢献を紹介しています。研究発表会当日も多くの先生方から挨拶の素晴らしさをほめていただきました。毎日の積み重ねが、どんな時でも当たり前のことを当たり前にできる子供たちの姿につながっているのだと考えています。地域の方への挨拶はこれからも指導を続け、改善を促します。



昨年同様、よい評価をいただきました。今年度の運動会は、組体操実施にあたり、安全に配慮した内容を検討して実施しました。5年生もソーラン節に挑戦し、高学年としては初めてのダンスとしての表現運動でした。今年度も、学期ごとに明確な目標をもって体育的行事に取り組めるように1学期に運動会、2学期に水泳記録会と連合運動会、3学期に持久走・大縄大会を実施して高学年の忙しさを少しでも回避しました。移動教室が1学期に入り、6年生が一つの行事に全力で取り組める日程で行うことができました。オリンピック・パラリンピック教育推進校として、昨年度より取組が充実してきたので、これからも進んで体を鍛える児童の育成を目指します。



昨年度より「達成している」の割合が若干増えました。今年度もいじめアンケートを毎月行い、いじめの早期発見に努めています。アンケートの内容から心配なことがあれば、一人一人と面談し、問題の解決に取り組んだり、教職員で共通理解したりしています。また、ハイパーQの結果を個人面談で返却し、人間関係やクラスでも様子に触れながら共通理解をしてきました。今年度も本校の区・都から配置されたカウンセラーが4年生と5年生の全員面談を行い、昨年度からの変化なども確認しています。全員面接の成果なのか、カウンセラーと会話する機会が増えた児童もいるようです。その結果、現在、長期の不登校児童がいなくなりました。これからも、保護者・地域・学校が情報を共有し、いじめや不登校の防止に努めます。



昨年度より「達成している」の割合が若干増えました。緊急時に備え、ご協力のお蔭で少しずつ100%に近づいています。昨年度見直した早めの赤坂中学校への二次避難や幼小中学校の連携を考えた引き渡し訓練の練習を実施し、改善したことが定着してきました。防災ヘルメットの耐久年数を考え、交換を行うなど安全性への配慮をしています。防犯ブザーを点検し、故障したものを電池切れのものへの対応をお願いしました。安全に対する確認を怠らず、学校・保護者・地域全員で子供たちを見守りたいと考えています。連れ去りなどの事件に巻き込まれないように遅刻や早退時は必ず保護者の付き添いやお迎えが必要であることを再度ご確認ください。よろしくお願いいたします。